

## 令和元年度第3回一関市まち・ひと・しごと創生有識者会議 会議録

- 1 会議名 令和元年度第3回一関市まち・ひと・しごと創生有識者会議
- 2 開催日時 令和元年12月24日(火) 午前10時から11時55分まで
- 3 開催場所 一関保健センター 会議室3・4
- 4 出席者
  - (1) 委員 金沢修治、金成風太、佐藤佳織、佐藤一也、中芝浩美、中机純子、野村勉、橋本真由美、藤野秀一、船山賢治、堀籠義裕、町田彩花  
※ 欠席委員：熊谷志江、鈴木明宏、滝上亜寿香、千葉順子、三浦孝浩
  - (2) 事務局  
石川隆明市長公室長、佐藤正幸市長公室次長兼政策企画課長、  
阿部繁樹政策企画課長補佐兼未来戦略係長、小野寺知之政策企画課主査
- 5 議題
  - (1) 総合戦略基本目標及び重要業績評価指標の平成30年度末時点の状況について
  - (2) 総合戦略基本目標及び重要業績評価指標の令和2年度目標について
  - (3) 総合戦略に係るアンケート結果の概要について
- 6 公開、非公開の別 公開
- 7 傍聴者の数 0人
- 8 会議の内容
  - (1) 総合戦略基本目標及び重要業績評価指標の平成30年度末時点の状況について  
資料1及び資料2により、総合戦略基本目標及び重要業績評価指標の平成30年度末時点の状況について、事務局から説明を行った。  
**■ 質疑応答・意見交換**  
委員 資料1の2ページの表において、平成30年度末実績と平成29年度末実績の記載があるが、平成29年度に比べて平成30年度はどのような指標において達成状況が変化し、その背景は何があるのかということがわかる資料があると今後の進展を検討する場合にはよいと考える。  
委員 KPIの「待機児童者数」(資料2、7ページ)を減らすために、保育士確保支援を行っているとのことだが、どのような取組をしているのか。  
事務局 保育士バンクを設け、保育士資格を有している方を登録し、保育士の募集

があった場合に、紹介を行っている。また、今年度から保育士資格を有しており、市内の保育園等に就職した方で奨学金の返還を行っている場合、返還の補助を行っている。

委員 「新規学卒者就農数」と「新規就農者数」を分けてKPIに設定しているが（資料2、3ページ）、その理由は何か。

事務局 総合戦略の計画内容では、どちらも新しい人の流れをつくるという目標の中で掲げられた指標である。同じ就農者数であっても、「新規学卒者就農数」については、人材育成という点で地元の若者が地元で就農するという面から設定したものであり、「新規就農者数」については、市外から就農することを視野に入れたものである。

委員 都会から移り住む人に対しては、住居への支援といったところが大事であると考えますが、資料からは見えにくい。「空き家バンクの新規登録件数」（資料2、4ページ）といった指標はあるが、住居に対する支援はどこに箇所にあるのか。

事務局 指標として設定しているものがなくても、総合戦略の計画内容で、移住希望者への相談窓口や情報提供、移住者に対する住宅取得に対する経済的な支援などを掲げ、取組を進めている。また、就農希望者に対する情報提供や空き家と農地をセットで購入できるように要件を緩和している。このほか、国、県で行っている移住支援についても、併せて移住者へ情報提供する体制を整えている。

## (2) 総合戦略基本目標及び重要業績評価指標の令和2年度目標について

資料2により、総合戦略基本目標及び重要業績評価指標の令和2年度目標について、事務局から説明を行った。

### ■ 質疑応答・意見交換

委員 「誘致企業数」（資料2、2ページ）は、平成30年度実績が24社に対して令和2年度目標値が33社と達成が厳しいと思われるが、この数値を設定している理由は何か。

事務局 「誘致企業数」については、総合計画における令和2年度目標値を総合戦略の目標としたものである。なお、総合計画については、指標も含めて議会の議決事項となっている。実績から見て達成は厳しいところだが、同じ市で

策定している計画の目標の数値の整合性を取るため、総合計画の令和2年度目標値を総合戦略に設定したものである。

委員 指標の達成度がC、D、Eとなった項目については、本気で取り組まない  
と厳しい状況にあると思う。なぜこのような結果になったのか原因を分析し  
た上で、現時点から来年度に向けた具体的な計画のようなものはあるのか。

事務局 個別の取組についての計画はない。指標の結果や評価については、作成を  
担当課で行うだけではなく、部長級を構成員とした策定部会で確認し、今後  
どのような取組をしなければならないか、庁内で情報共有を図っているところ  
である。

委員 ILCのマイナス面について説明するセミナーは開催しているのか。イン  
ターネットには様々な情報があり、何が本当かわからないところがある。マ  
イナス面と誘致の効果、両方の説明があるとよい。

事務局 職員が説明するよりも質問があってもすぐに答えられる専門家から説明を  
行ったほうがよいと考えている。ILC誘致のメリットやデメリット、市民  
の不安について、なるべく多く説明の機会を設けていきたい。先日、東北I  
LC準備室及びKEKの研究者が室根地域で説明会を開催したところである。

委員 「特定不妊治療を受けている方への助成実績」(資料2、6ページ)につい  
ては、対象となる方が受けられるように情報提供することが大事と考える。  
産婦人科と連携し、情報提供するといった取組はいかがか。

事務局 担当部署へ今の御意見を伝えて、情報が届く仕組みを検討したい。

### (3) 総合戦略に係るアンケート結果の概要について

資料4から資料10により、総合戦略策定のために実施した結婚・出産・子育て関  
するアンケート、転出者アンケート及び転入者アンケート並びに総合計画策定のため  
に実施した中高生アンケートの単純集計の結果について、事務局から説明を行っ  
た。

#### ■ 質疑応答・意見交換

委員 それぞれのアンケートの結果では、安定した職場や多様な職場があること  
が重要ということだった。雇用の受け皿として7～8割を占めていると思わ  
れる中小企業や小規模な零細企業にクローズアップした施策が重要と考える  
が、現在の取組や考え方、そのほか事業承継、起業や創業についての取組に

ついて伺いたい。

事務局 起業については、起業応援セミナーを開催している。また、セミナーの受講生が商売の経験を積めるよう、今年度、テスト的なマーケットを開催している。小規模な企業の支援としては、地元企業が設備投資により雇用を増やす場合、その設備投資費用に対して助成を行っている。

委員 K P I の中では、中小企業や零細企業への支援に関するものが少なかったと思われるので、次の戦略策定の際に盛り込んではどうかと考える。

事務局 策定する際の参考としたい。

委員 娯楽の充実については、娯楽が多様化し、自宅で楽しめる娯楽もあること、仙台まで車で買い物に行ける距離であること、インターネットでの買い物も充実しているといったことから、あまり力を入れなくてもよいのではないかと考えている。一関市以外のほうが仕事の待遇面がよいという回答も多かったが、娯楽よりもそういった仕事の面が重要であると考え。結婚・出産・子育てアンケートの回答者は30歳代が多く、年収は300万円の回答が多いという結果から考えると、稼げる環境を作っていくことが重要だと考える。また、働き方改革については、企業への呼びかけもあるが、根本的なところは教育だと思う。優秀な人材を集めるためにもインターナショナルスクールなどを誘致するということがいかがか。

事務局 策定する際の参考としたい。

委員 今後、戦略を検討するにあたり、前回のアンケート結果と比較できるような資料もあればよいのではないか。また、回答者数が少ないアンケートは、クロス集計は難しいと思うが、結婚・出産・子育てアンケートについては、男女別や5歳刻みの年齢別のクロス集計があるとよいと思う。

事務局：1月30日に開催する次回会議の際にクロス集計結果について、お示ししたい。

委員 それぞれのアンケートでまちの賑わいを作っていくことが重要であり、商店街振興というところで、空き店舗対策も取られている。商工会議所で商店街のランドデザインを考える会議をされているが、それとの連携はどう考えているのか。

事務局 市でも駅中心としたまちづくりについても着手し始めている。商店街のランドデザインについては商工会議所でも着手されているところである。年

明けに、相互に意見交換する機会や一緒に考える場も設けたいと考えている。

9 担当課 市長公室政策企画課